



# 新聞まさひこ通信 曙

あけぼの 曙

公明党福岡県議団 会報  
発行責任者  
福岡県議会議員  
新開 昌彦  
福岡市早良区曙2-1-35  
Vol.61号  
平成26年8月24日発行

## 県政報告

## 6月定例会報告

6月定例会が6月6日から24日まで開会され、公明党は、代表質問を行いました。

①人口減少が続きこのままでは自治体機能が維持できないとされる問題について質問。

小川知事は、一定規模の人口維持が必要と認め、結婚、子育て、雇用支援など総合的に対応していくと答弁。人口減少に対応するプロジェクトチームの立ち上げの提案には明快な答弁はありませんでした。

②福祉施設で障害者が作った商品の販売を拡大さ

せることを質問。小川知事は、商品販売やクリーニングなどの業務を行っている施設は約1000ヶ所あるが販売のノウハウを持たない施設も多いことから実績の高い施設を全国規模で選定し、担当職員を招いて研修会を開催すると答弁。県内4カ所で官公庁と福祉施設の商談会を開催し契約の機会を設けると答弁。

▲**障害者優先調達推進法**の施行が着実に追い風になっています。

## 一般質問

## 災害時の怪我にも保険適用すべき!



私は、七年前の豪雨災害の際、数週間前に行なった**自防災組織**主催の防災訓練を生かして七隈川に止水盤を設置し、土嚢を積む活動中に怪我をしました。大した怪我ではありませんでしたが、自治会長は、福岡市に問い合わせてくれました。後日、自治会長は、「福岡市が掛けている保険は、訓練の時には適用されるが災害の時には適用しない保険。」「今後は積極的に訓練に参加してくれとはいえませんなあ」と落胆されました。

今回、福岡県内市町村で、災害時にも保険が適用される**ボランティア活動保険等**の保険に加入しているのは、筑前町ひとつだけであることが明らかになりました。

これでは共助が育たないと、知事の見解と今後の対応を質問。

知事は、自主防災組織の皆さんのが安心して防災活動に従事していくためにも災害時の防災活動に適用される保険加入は、有用な取り組み。

今後、県は、市町村に対して保険の補償内容などについて様々な機会を通じて自主防災組織に十分な説明を行うよう要請していく。と答弁しました。

▲実は、今回、7年前と同じ質問をしました。大変前向きな答弁になりました。今後も自主防災組織の皆様の安全、安心のために頑張ります。

